

城崎にコーヒーやビールを飲みながら自由に立ち読みができ、その本を買うことができる書店があります。

経営するのは西垣崇史さん。月に1度は交流会を兼ねたイベントを開催し、お薦めの本を紹介しあつて一番読みたいと思わせた人が優勝する「ビブリオバトル」を開催したり、講師を招いて「育児が楽になる食事術講座」を開いたり、本を売るだけでなく人が集う場となっています。

城崎町出身の西垣さん、サラリーマンとして15年働いて

いましたが「まちに一つは本屋が必要」との思いから、いつか書店を開くと決心しました。金融機関が開催した「地域クラウド交流会」で事業内容を発表したことをきっかけに、半年前、書店をオープンしました。集まる人は地域の人や旅館で短期で働いている人、普段はあまり外出しない人などさまざまです。参加者の一人に「私はここに居ていいんだと思った」と言われた時、この仕事を始めて良かったと思わされたそうです。



城崎で人が集まる本屋さん
にしがたかし
西垣崇史さん(城崎町湯島)
書店経営者



Toyooka Topics —とよおかの“旬”な人と話題—



▲演劇ワークショップで飛び跳ねる子どもたちと劇団員

ひだか演劇まつり

地域と演劇の触れ合い

12月7・8日、ひだか演劇まつりが開催されました。劇団青年団／(有)アゴラ企画と日高町商工会連合会とが主催し、ひだか商人まつりのガラポン抽選会と、子ども向け演劇などが江原駅近くの空き店舗をきれいに整えた会場で行われました。平田オリザさんと山崎 亮さんの対談、演劇ワークショップ、人形劇や大道芸を見ることができました。青年団が地元の方に話を聞いたところ、高齢者からも若者からも「子どもが集える場所を作ってほしい」との意見が多かったそうです。ワークショップに参加して自分たちで短い劇を作り、演じた小学生たちは「もう1回やりたい!」と大きな声を上げていました。

リアルコネクション

約30団体、140人の社会人とのつながり

11月30日、豊岡市民プラザほっとステージで、社会人サークルマッチングイベント「リアルコネクションーリアコネー」(主催・但馬夢テーブル委員会TCCグループ)が開催されました。

ボディービルやダンス、音楽イベント企画、国際交流など、市内を中心に活動する約30団体と、一般参加者を含む約140人が参加。各団体による活動紹介や演技などの後、参加者は、気になった団体から直接話を聞くことで、交流を深めました。

但馬ドーム応援隊「ファンクラブ」の中村香葉子さんは「ファンクラブの会員が増えて、友達作りにつながれば」と期待を込めていました。



▲参加団体と実行委員